



日本脳炎ワクチンについての説明

静岡県立こども病院 予防接種センター

1) 日本脳炎

日本脳炎は日本脳炎ウイルスが原因で、名前の通り、重篤な脳炎症状を引き起こします。日本脳炎ウイルスはブタの体内で増え、蚊を介して人に感染します。感染から発病までの期間は 7～10 日で、突然の高熱、頭痛、嘔吐、意識障害やけいれんなどで発症します。感染者 1,000～5,000 人に 1 人が脳炎を発症し、その場合の死亡率は約 15%です。たとえ救命できても約半数に後遺症が残り、今でも危険な感染症であることに変わりはありません。日本脳炎は、東南アジア及び東アジアに広く分布し、患者が多発しています。

2) ワクチンの効果： 抗体産生は良好で、2 回接種すると 99%の人に免疫がつきます。

3) ワクチンの特徴： 日本脳炎ウイルスを Vero 細胞株中で増殖させ、精製した不活化ワクチンです。

4) 接種方法

第Ⅰ期：生後 6ヶ月以上 90ヶ月未満の児に接種します。3歳未満は 0.25ml、3歳以上は 0.5ml を皮下注射します。初回接種（標準は 3歳）は 1～4 週の間隔で 2 回接種します。その 1 年後（標準は 4歳）に 1 回追加接種します。

第Ⅱ期：9歳以上 13歳未満（標準は 9歳）の児に対して 0.5ml を 1 回接種します。

○特例処置：平成 7 年 4 月 2 日から平成 19 年 4 月 1 日までに生まれた方は、20 歳になるまで不足分を定期接種として公費で接種できます。

平成 19 年 4 月 2 日から平成 21 年 10 月 1 日までに生まれた方は、接種が済んでいないワクチンがあれば、1 期または 2 期の接種年齢で、不足分を定期接種として公費で接種することができます。

5) 副反応

37.5℃以上の発熱が接種後 2 日以内に約 18.7%に見られます。発疹の頻度は約 8.9%以下です。

6) 接種後の注意

ワクチン接種後 30 分間は院内にとどまり、様子を観察して下さい。接種部位の腫脹、体の発疹、じんましん、気分不良、嘔吐、咳や呼吸困難などの症状が見られたら、直ちに接種した医師か看護師に声をかけて下さい。この間に全く異常が見られなければ、看護師にその旨、一声かけて帰宅して下さい。

7) 帰宅後の注意

激しい運動はさけて下さい。その他はいつも通りの生活を送ることができます。入浴もさしつかえありませんが、注射した部位をこすらないで下さい。